

デート DV 防止から始めるジェンダー平等な社会づくり カップルの対話から考えるヘルシーリレーションシップ

デート DV は、恋人間の暴力のことで、カップルの 3 組に 1 組で起きていると言われる私たちの身近な問題です。しかし、暴力というどうしても「殴る・蹴る」といった身体的暴力だけだと誤解されやすく、デート DV という言葉の認知がなかなか進まないのが現状です。デート DV 防止全国ネットワークでは、デート DV の啓発を学校現場に限らず、企業研修や議員勉強会、障がいを持つ当事者団体や LGBTQ コミュニティにも広がっていきます。特に、当事者世代の感覚を活かしたユースプロジェクトの活動として、若者が楽しみながら対等な関係の大切さに気付いていく啓発グッズの制作も行います。

ゲストとして、オープンに恋愛や性の価値観を話すことで仲良くなることができるカードゲーム「いきなり恋バナカード Sekirara」を開発した「アイカタラボ」のお二人を迎えます。対話により価値観のすれ違いを予防し、ヘルシーリレーションシップ構築に役立たせるというカップル向けゲームの開発に工夫した点などを伺い、ジェンダー平等な社会の構築のために、今後の啓発の方向性を語り合います。

■ゲスト： 藤原紗耶さん



アイカタラボ。高校・大学の両方でアメリカ留学。ロサンゼルスにおいて、リベラルな価値観に触れる。現地の授業で「オーガズムギャップ」の概念を知り、ジェンダー差別に課題意識を持つ。ヘルシーリレーションシップを構築するカードゲーム「セキララカード」を製作中。現在はフリーランスで英語教材を制作し、YouTube「笑える English」も兼ねて活動中。

高橋マジェロさん



アイカタラボ。男社会や高学歴社会特有の均質的な価値観、特に女性をモノとして扱うことや性的コンテンツの消費、モテに対する違和感を持つ。2019 年、性の映像プロジェクト「Itonami」を立ち上げ。ルッキズムに対抗する新しいマッチングアプリを開発。IT スタートアップのエンジニアとして働く傍ら、新たなプロダクトやコンテンツの制作中。

阿部真紀さん



デート DV 防止全国ネットワークの創設メンバーとして、現在、同団体事務局長。普段は、認定 NPO 法人エンパワメントかながわ理事長として、デート DV 予防プログラム実施者養成講座、相談員養成講座、相談対応専門研修の講師を務める。著書に『暴力を受けていい人はひとりもない』（高文研）。

高島菜芭さん



デート DV 防止全国ネットワーク理事。京都大学在学中に「Genesis」を設立。京都市と共同で「性的同意ハンドブック」を制作。性的同意ワークショップ、パートナー間で性の価値観をすり合わせるアプリ開発など、様々な啓発活動を実施している。国連女性機関でのインターンを経て、IT 会社に勤務、新規事業開発室にて商品企画を担当。

■日時：2023 年 9 月 2 日（土）13：30～16：00 ※受付時間 13：00～

■会場：オンライン開催

※オンライン会議システム・Zoom を使用。スマホや PC 等のインターネット端末から参加いただけます。参加方法の詳細は、お申込みくださった方に開催前日までにメールいたします。聞くだけの参加も可能ですが、この対話の場を一緒につくれるよう、お声を出していただけたら幸いです。参加者さまのお顔は写らないよう初めはこちらで設定しますが、ご発言の際は自主的に顔を写していただけます。

■参加費：無料 ※先着 50 名様。申込の締め切りは 23 年 8 月末または定員に達した時点の早い方。

■主催：NPO 法人まちぼと ソーシャル・ジャスティス基金 <https://socialjustice.jp/> メール info@socialjustice.jp

■お申込みページ： <https://socialjustice.jp/20230902.html> ※完全事前登録制。当ページからのみ受付。

— 助成：オープン・ソサエティ財団 —